

EVENT REPORTS

12月8日(日曜)
やおきさんのマルシェ vol.18

ぽかぽか陽気で
気分もサイコーでした!



3ヶ月に一度行っている、蔵庭マルシェです。18回まで回を重ねて来ましたが、今では出店者の皆さんも自主的にお手伝いをしていただき、とても和やかなムードに包まれています。初出店のチャレンジ枠も面白い試みとなりました!

UPCOMING EVENT

協働フェスタ

1月25日(土) 9:30~15:30
越谷市中央市民会館及び前庭

越谷市の名物イベントのひとつ、協働フェスタに木のジャングルジムくむんだーWSで登場します。子年初のイベント参加となります。

第8回 春の宿場まつり雛めぐり

3月1日(日) 10:00~
旧日光街道沿いおよびその周辺

日光街道越ヶ谷宿が雛人形ロードに生まれ変わります。当日は珈琲の日と同時開催となります。コーヒーを片手に宿場町越谷を楽しんでいただければ幸いです。

やおきさんのマルシェ vol.19

3月8日(日) 10:00~15:00
八百喜参之蔵

春のマルシェシーズンのスタートです。まだ肌寒い季節柄ですが、梅の花の咲く頃、気持ちの良いマルシェに是非お越しください。

おしらせ

木の家ネット記事取材



地元だからこそ
本気で考えられる
けやき建築設計・樺組
村上 順平

けやきが所属する数少ない業界団体、「職人がつくる木の家ネット」のつくり手インタビュー記事が公開されました。過去から近年の現場を巡りながらの密着取材を受け、建築や地域づくりへの想いを熱く語っております。是非ご覧ください。

職人がつくる木の家ネット
kino-ie.net/interview_631.html



近未来ハイスクール出演

これまでも何度か出演しております、高校生と対等に人生を語る企画に参加しました。今回は川越工業高校の定時制の学生とのセッションでした。高校生の純粋な想いからこちらも大いに刺激を受けました。高校生の頃ってこんなに考えてたかな~



埼玉県宅建業協会勉強会講演

我々の業界とも近い、不動産業界の勉強会にて近年の越谷でのまちづくり事業について発表させていただきました。知っている顔も多く気恥ずかしい中、地元のまちづくりへ不動産や建築の専門家がどのように関わるべきか、語ってまいりました。

昨年もお世話になりました。今年も改めて新しいことに挑戦する一年にしたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。



上田

秋号の発行が遅れ、一ヶ月後には新年号発刊と、相変わらず予定管理の出来ない慌ただしい年末年始を迎えております。この悪循環から今年こそ抜け出そう!と毎年宣言している気がします。本気度が試される年になりそうです。



畔上

社会人2年目も怒涛の1年でした。3年目も精励格闘いたします。



白坂

けやきREN

KEYAKI OFFICIAL MAGAZINE

Vol. 25

2020 WINTER



旧年中は大変お世話になりました。本年もけやき建築設計・樺組をよろしくお願ひ申し上げます。

順声平語

[第12回] 今年の抱負

「原点再考~開拓挑戦」

ひとつの区切りから新たな世界に踏み出す事を
新年の宣言にしたいと思います。



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の子(ね)の年、暦では一番目に数えられる始まりの年であり、西暦2020年という節目の年でもあります。また、会社を始めてこの5月で15周年を迎えます。

今年のスローガンは「原点再考~開拓挑戦」とし、ひとつの区切りから新たな世界に踏み出す事を新年の宣言にしたいと思います。

人口減少、少子高齢化に伴う住宅需要の低下、まちには空き家や空き地が増え、空洞化が進んでいます。新築の依頼が減り、その分調査や修繕の仕事も多くご依頼いただくようになっています。そんな中、東京ではオリンピック需要もあって、都内は新築工事現場だらけの状態が続いています。これが終わると待っていた地方の再開発が一気に

はじまります。忙しいのは大手のゼネコンや総合設計事務所ばかりで、地方の多くの建設業者は下請け仕事に翻弄され、人手不足を補う事ばかりに気を取られる状況に陥っています。こういった時代に自分たちはしっかりと社会の役に立ちながら生き残る事が出来るのか思い悩みつつ、建設業を取り巻く新たな領域にも開拓が必要であると考えています。

平成が終わり、ひとつの区切りとなりました。令和の時代を迎え、未来が私たちにとってどうあるべきなのか、幸せな社会をつくるにはどんな活動が求められているのか、自問自答するとともに、周囲の皆さんと共感出来るテーマを持って実践していきたいと思っています。

順声平語をもちまして新年のごあいさつに代えさせていただきます。



2020